



たまボラ

発行：東大和市社会福祉協議会
所在地：東大和市中央3-912-3
電話：042-564-0012（代表）
FAX：042-564-3680

～しゃきょうのたまちゃんがお伝えする東大和のボランティア情報紙～

コロナ禍における 災害ボランティア



●災害ボランティアセンター設置・運営訓練が行われました。

去る3月10日（水）、東日本大震災から10年目を迎えるというこの日に、災害ボランティアセンター設置・運営訓練が行われました。

この訓練は「東大和市災害ボランティアセンター協議会」が主催で毎年開催していますが、昨年度は、コロナ禍により規模を縮小して実施しました。規模は小さくなりましたが、改めて災害ボランティアセンターの役割や機能を確認するとともに、感染症という新たな困難に対し、いかに備えるかという命題を共有することができました。

今号の主な記事

- OP2
・災害ボランティアセンター設置・
営訓練の様子
- OP3
・あんな活動 こんなところ み～つけた
～ボラセン委員訪問録～
「新しくなつたれんげ学園」
- OP4 お知らせ・情報提供等

詳細は次のページで→

令和2年度

災害ボランティアセンター設置・運営訓練が行われました

①当日の流れを確認

☆進行の確認、会場設置、役割分担など

②ニーズ受付開始

☆被災者役の参加者が、困りごとを災害ボランティアセンターへ電話で相談。
☆被災者支援役がその困りごとを聞き取り。

③訪問調査

☆スタッフが現地を模した会場へ移動。
☆被災者役から聞き取り調査を実施。



④被災者支援班からボランティア支援班へ引継ぎ

☆ボランティアへ状況を引き継ぐための書類作成

⑤ボランティア受付開始

☆ボランティア役の方が用紙を記入
☆オリエンテーションの動画視聴

⑥送り出し

☆ボランティア支援役による送り出し
☆資機材を受け取り現地へ！
(訓練はここで終了)

【コロナ禍による困難】主な意見など

- 受付時など、どうしても密になってしまう。実際の災害時にはもっと混雑する。
- 検温は屋外だと低めになることを意識しておくといい。
- 体調の悪い人の聞き取りをどうするのか？
- 共有の備品などの消毒などはしっかり行う必要がある。携帯電話の使いまわしも要注意！
- 変異ウイルスが出てきているので、対応できる感染症対策が必要。
- コロナの影響で密を避けるために避難所のみならず、指定避難所以外にも避難する人が出てくるのが想定される。避難所の情報も常に把握しておく必要がある。



受付は密になりがち



資機材配布は外で

【今後に向けての改善点】

- 受付を待つ列に、間隔をとれるように目印を貼っておくとよい。
- 混雑回避のため受付時間を分けるなど対応を検討した方がいい。
- 手袋の使用を考える。1時間に1回程度交換する。
- ボールペンやバインダーなど身近な物も消毒した方がいい。
- 自宅にいる人はマスクをしてない可能性があるため、訪問調査に行く際はマスクを持参する。
- 感染症に対応できる資機材を用意する。
- オリエンテーションはオンラインで配信するなど、できるだけ密を防ぐ。

【感想】

感染症と災害、遭ってほしくないことですが、どちらも待つはくれません。今回のコロナ禍にあっても災害に見舞われてしまった地域はあります。この東大和市においても、大きな災害が発生した場合は、コロナをはじめとした感染症対策を行った上で災害ボランティアの受け入れが行えるよう、今回の訓練の反省を活かしてガイドラインの作成など準備を進めていきます！





皆様こんにちは♪東大和ボランティア・市民活動センター運営委員の相澤 靖です。

今回は、私が務める児童養護施設れんげ学園と、この春に開設した地域交流スペース「ロータスホール」についてご紹介させていただきます。

児童養護施設ってどんな施設かご存知ですか？児童養護施設は、さまざまな事情で養育者との生活が困難な子どもたち（概ね2歳から18歳）が生活する施設です。

れんげ学園は芋窪5丁目に所在し、敷地内には子ども達が生活する「児童棟」、職員室・地域交流スペースがある「管理棟」があります。また、武蔵村山市には「グループホーム」という地域の中で生活するお家が2軒あります。



これまで児童養護施設は、保護者の代わりに子どもを養育する役割を果たしてきましたが、今後は、地域の子育て支援の一助となるような役割も求められています。そのような中、れんげ学園では地域の皆さんが集うことができる交流スペース「ロータスホール」をこの春に開設致しました。

「ロータスホール」は、地域福祉や教育に関する活動を行う、東大和市に在住・在勤・在学されている団体を対象に、無料でご利用頂けるスペースです。詳しくはれんげ学園のホームページ <https://rengegakuen.org/> に掲載している、「ロータスホール」のページをご覧ください。



「ロータスホール」が地域の活性化に繋がり、将来的に、地域の子育て相談ステーションとしてスペースを活用していくことも検討しています。見学も随時受け付けておりますので、れんげ学園ホームページのお問い合わせより、お気軽にご連絡ください。

* ボランティア活動で使用する際は、東大和ボランティア・市民活動センターにお問い合わせ下さい。

ぼらセンからのお知らせ



森フェス2021 ArtMusickXNatureXLegacy

雨天開催

6/5(土) 12:30~ 高木神社 西武バス塩釜神社前徒歩3分 (東大和市高木2-1)

●緊急事態宣言延長の場合は6/26(土)に延期となります。

日本遺産「石見神楽」とプロジェクションマッピングの融合・巨大屏風のライブペイント・和太鼓・けん玉ショー等、様々なイベントを開催します。

WorkShop

日本遺産「石見神楽」を体験しよう！

- ①玩具面の絵付け体験
- ②天蓋の切り絵体験
- ③大蛇になろう！ヤマタノオロチ体験
- ④線香花火づくり
- ⑤夢灯籠づくり
- ⑥七宝焼き体験
- ⑦和髪を結ってみよう
- ⑧Hananaなキッズブーケづくり
- ⑨和のアロマ体験
- ⑩木製カメラづくり
- ⑪悪霊退散厄除けバッチづくり

■入場希望者は、要申し込み。

(150名限定/予約申し込み完了者のみ入場可)

申込先メール: asaken1976@yahoo.co.jp

※氏名・年齢・住所・電話番号を明記

主催: ヒガシヤマトみらい基地

当日、受付をお手伝いをしてくれるボランティアさんを募集しています！

ご希望の方はボランティア・市民活動センターまでご連絡ください。

☎042-564-0035

※また、同様のイベントが今後も開催される時には、お手伝いができるという方も募集します。お気軽にお問い合わせください。



ボランティアできます

■スポーツのメンタルトレーナーボランティア■

メンタルトレーナーとは、心理学者やメンタリストという堅苦しいイメージではなく、選手やチーム全体と積極的にコミュニケーションを取り、メンタルトレーナーと一緒に選手やチーム自体のモチベーションアップや精神的成長を目指していくものです。

【詳細】

- ・ボランティア: 市内在住男性
- ・可能な曜日: 平日夜間(おおよそ19時~)、土曜日(日中)
- ・対象: スポーツをしている方(大人子供問わず)、スポーツチーム
- ・その他: 野球であれば技術的な指導も可能(軟式野球のみ)
- ・できる事: メンタルトレーナーとして選手、チームのサポート。その他練習等のお手伝い。

【問合せ】東大和市ボランティア・市民活動センター

使用済み切手の寄付をお願いします



社会福祉協議会では使用済み切手を回収しています。

切手ボランティアさんに整理をしていただき、青梅市にある盲養護施設に寄付をしています。寄付をした切手は盲老人の福祉に役立てられています。

皆さんご協力よろしくお願いします



個人登録とボランティアグループ登録のご案内

令和3年度のボランティア保険の加入はお済みでしょうか。ボランティア保険は年度ごとに加入する保険です。令和2年度に加入した保険は、令和3年3月31日で保険期間が満了となっていますので、ご注意ください。ボランティア活動をしている方で、加入がお済みでない方は、社会福祉協議会窓口にてお申し込みください。

【ボランティア保険とは?】

ボランティア活動中や往復途上での偶然な事故・ケガにより、ボランティア自身がケガをした場合の「傷害保険」と、活動中に対象者にケガをさせてしまった、物を壊してしまった場合の「賠償責任保険」の2つの補償をセットにした保険です。現在は、活動中にボランティアが新型コロナウイルス感染症に罹患した場合も補償の対象となりました。活動を安心して行うためにも、ボランティア保険の加入をおすすめしております。※令和3年度より、ボランティア保険Aプランの保険料が350円(年額)に変更されましたので、ご注意ください。

■ボランティア・市民活動センターの担当が変わりました。よろしくお願いします。 浅見・水谷

※紙面についての問合せは、下記までご連絡ください。

【問い合わせ】

東大和ボランティア・市民活動センター

TEL: 042-564-0035 FAX: 042-564-3680

※配架協力店: 中央薬局、ファミリーマート桜が丘2丁目店